

名器ガルネリから紡ぎ出される美音、
豊かな感性と精緻なテクニック——
日本デビュー・リサイタルで絶賛された
ショスタコーヴィチを、今再び!

ブラームス:チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 op.38
Brahms: Cello Sonata No.1 in E minor, op.38

ショスタコーヴィチ:チェロ・ソナタ 二短調 op.40
Shostakovich: Cello Sonata in D minor, op.40

メンデルスゾーン:ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49
Mendelssohn: Piano Trio No.1 in D minor, op.49

ピアノ— 鷺宮美幸
ヴァイオリン— 松実健太

日本デビュー20周年記念

唐津健 チェロ・リサイタル
~オメガトリオと共に~

KEN KARAATSU
CELLO RECITAL

2018

11.17 [土]

13:30開場 / 14:00開演

JT アートホール アフィニス

(東京・虎ノ門)

[入場料(税込)]

全席自由 5,000円

主催: パシフィック・コンサート・マネジメント

後援: 公益社団法人 日本演奏連盟

一般財団法人 日本チェロ協会



鷺宮美幸



松実健太

[お問い合わせ・お申込み]

PCM パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

[プレイガイド]

イープラス <http://eplus.jp/>

ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407(Lコード:34076)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

唐津 健 [チェロ] Ken Karatsu, Cello

4歳からピアノを、9歳からチェロを始め、安田謙一郎、松波恵子、毛利伯郎の各氏に師事。

1990年、桐朋学園高校音楽科を卒業後、英国王立音楽大学を首席で卒業。在学中、ジャクリヌ・デュ・プレを育てた名教授、ウィリアム・ブリース、アマリリス・フレミングらに師事し、最優秀の生徒に与えられるパリーマニロープライズをはじめ数々の賞を受賞。ミュリエル・テイラー・チェロコンクール第2位入賞。ウィンチェスター大聖堂に於いてソロ・リサイタルを開催するなど、ヨーロッパ各地でリサイタルを行う。1991・92年、パシフィック・ミュージック・フェスティバルに参加。その後、文化庁芸術家在外研修員として渡米し、ニューイングランド音楽院修士課程を名誉賞付きで修了。1998年カザルスホールでの日本デビューリサイタルはCSスカパーのスーパークラシックTVにて放映され「精巧なテクニックを持ち、甘美な表情だけではなく、自身の心の内を素直に聞き手に伝えることの出来る稀有なチェリスト」と各誌で絶賛された。その後も、王子ホールやトッパンホールなど主要ホールでのリサイタルをはじめ、NHK-FM「名曲リサイタル」、中央FM等のラジオ、NHK-BSなどにも多数出演。2002年より一般財団法人地域創造による公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）登録アーティストとしても活動し、室内楽では蓼科高原音楽祭、軽井沢国際音楽祭、米アスペン音楽祭などに招かれ、竹澤恭子、小林美恵、漆原啓子、仲道郁代、清水和音、野平一郎、横川晴児など国内外のトップアーティストと共演を重ねている。また松実健太、鷺宮美幸とオメガ・トリオを結成し、全国でコンサートを行っている。

2007年秋には、日本初録音となる「ブリッジ、バーバー：チェロ・ソナタ」をリリース。「レコード芸術」で準特選盤に選ばれ「音楽現代」誌などでも高く評価された。使用のチェロは1690年代作製のジョセフ・ガルネリ。



鷺宮 美幸 [ピアノ] Miyuki Washimiya, Piano



7歳よりピアノ、作曲、ヴァイオリンを始める。その後、桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者H. ユイグ＝ロジェ氏の推薦で、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール（フランス）等、国内外の多くのコンクールで入賞。これまで、ベルリン・フィルのクリストフ・ハルトマン、イムジチ合奏団のマッシモ・パリス、ヴィト・パテルノステル、またジャン・ワン、マクス・ラリュエ、ミッシャ・マイスキーなど、国内外の著名なソリストと共演。2013年、シンガポールでChan Tze Law指揮 Metropolitan Festival Orchestraとグリーグとベートーヴェンの「皇帝」を一夜で演奏し「The Straits Times」で絶賛された。2016年、新田孝指揮 Nippon Symphonyとのラヴェルのピアノ協奏曲が「音楽現代」で“真の意味の実力者”と評され、2017年のWorld Piece Classic Concert ではラフマニノフのピアノ協奏曲第3番で“ヴィルトゥオーゾ”と評価された。NHK-BS、NHK-FMにも度々出演し、好評を博す。「ワッシー・ファンタジア」(PF. 鷺宮美幸/DQC65パステリエル)他、多数のCDをリリース。

オフィシャルサイト <http://www.miyuki-washimiya.com/>

松実 健太 [ヴァイオリン] Kenta Matsumi, Violin



桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院ヴァイオリン科首席卒業。1991年 Rowsley Woof、1994年 Wilfred Perry 王立音楽院ヴァイオリンコンクールで優勝。1992年 イタリア・パロマドーロ国際コンクール（ヴァイオリンとピアノ部門）で最高位を受賞。また同王立音楽院ヴィオラ研究科を修了し、1994年第5回ライオネルターティス国際ヴィオラコンクール第2位と特別賞を受賞。ヴァイオリンとヴィオラでそれぞれのソロCDをリリース。現在は日本を拠点にソロ、室内楽でヴァイオリンとヴィオラで活躍。2001年、英国王立音楽院より「ARAM」（準メンバー）の称号を授与された。現在昭和音楽大学、東京学芸大学などで後進の指導にもあたっている。2018年、第4回高松国際ピアノコンクール、第10回浜松国際ピアノコンクール・セミファイナル室内楽奏者を務める。



JT アートホール アフィニス

[アクセス案内]

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル 2F

- ◎地下鉄銀座線「虎ノ門駅・3番出口」より徒歩4分
- ◎地下鉄銀座・南北線「溜池山王駅・9番出口」より徒歩5分
- ◎地下鉄日比谷・千代田・丸の内線「霞ヶ関駅・A13番出口」より徒歩7分